

冬休み前の全校集会 あいさつ

おはようございます。

後期に入ってから2か月が経ち、明日から、冬休みが始まります。冬休みが明けると3年生はすぐにセンター試験が待ち構えています。体調を整え良いコンディションでその日を迎えることができるように、ビジランスの低下に気をつけて下さい。2年生は台湾修学旅行で異文化に触れることができました。先日のビブリオバトルではクラス代表生徒のお勧めの本だけを手にした2分30秒のスピーチは見事で聞きごたえがありました。朝読の集大成でした。1年生は性暴力についての人権HRの中で見せた「セルフディフェンス」での腹の底からの叫び声に74期生のパワーとたくましさを感じました。校内での挨拶も友達に促されるのではなく各個人が自発的にできています。

さて、来年度の大学入試から導入される「共通テスト」については、英語民間試験の導入が見送られ、国語・数学の記述式問題についてもつい先日、導入が見送られました。共通テストの目玉だったはずの英語民間試験と国語・数学の記述式を欠くことになりました。

2つの目玉を欠いた共通テストとセンター試験では何が変わるのでしょうか。ポイントは7つあります。

①英語：発音、アクセント問題などが無くなります。民間試験の活用延期で従来通り、「読む・聞く」の2技能のみ測る内容になります。

②英語：センター試験ではリスニング50点の配点が共通テストでは2倍の100点になります。また、読みも2回読みと1回読みの両方で構成されます。

③英語：センター試験だと設問は日本語でしたが、共通テストでは英語になる見込みです。これは普段のAll Englishの授業の積み重ねで対応できますね。

④英語：単語量が増加します。近年のセンター試験では4千語を超えていて、共通テストでは5千語を超えと言われています。語数と難易度は比例するとは限らないけど、読解力は必要になってきます。

⑤国語：従来の小説や評論文に加えて、判断力を測るために、書類など実用文からの出題がほぼ確定しています。

⑥数学：問題文自体が長く読解力や思考力がないと解けない問題も出題されます。

⑦全科目：適当なマークでの得点を防ぐため、正しい選択肢をすべて選ぶ、正しいものがなければ「0」をマークするものが登場する可能性もあります。

ところで、ダーウィンは「この世に生き残るのはどんなもの？」だと言っていましたか…。

「最も強いものが生き残るのではなく、最も賢いものが生き延びるのではない。唯一生き残ることが出来るのは変化できる者、変化に適應できる者」だと言っています。

日々の学習、部活動、学校行事や友達との関わりの中で、変化に適應できてたくましく生きていく力を身に付けてほしいと思います。泉陽生なら出来るはずです。以上で、集会の話をおわります。